

みらい

～今の私達ができること～



聖陵会水環境委員会

2007

水環境委員会の紹介

今月から我々水環境委員会の活動内容を昨年度作成しました冊子より4回に分け紹介していきたいと思います。

今回ご紹介する内容は、

①前年度委員長による挨拶

②委員会活動の概略

③活動内容

です。

次回より、具体的な活動内容を紹介していきたいと思いますので、興味のある方は是非ご覧下さい。

今後の予定・・・

第2回 森の未来（植林班）、ダム班、活動を広める班

第3回 えひめA I 2、環境班（筑後川の生き物たち）

ホタル鑑賞会

第4回 第12回リバーフェスタ i n 三隈川参加報告

水質検査

以上です。皆様乞うご期待！

はじめに

聖陵会水環境委員会が発足し早8年が経過しようとしています。そして私が委員会メンバーになり4年の歳月があつという間に過ぎていきました。この4年間「環境」を通して沢山の事を学び、沢山の方と出会い様々な経験をさせて頂きました。今年の題は2年前の冊子『再生』、そして昨年の『甦』に続き、初心に帰り今現在自分たちが出来ることは何か？と考え10年先20年先の環境が変わってほしいという思いを込め『みらい』と決定しました。

現在、水環境委員会は7つの班に分かれ活動しています。中でも昨年新たに出来た「活動を広める班」は、4年間携わってきた私の中で最も初心に戻される意味のある班となりました。そして、今年の冊子にもありますように、10年以上も続けている「採水」。自分たちの手で作ってこうと活動した「里山自然班」。現在の世界のダム事情をもう一度考えてみる「ダム班」。簡単に作れて、体に害が無く環境に優しい謎の液体「えひめA1班」。毎年6月に行う年に一度の季節の風物詩「聖陵会ホテル鑑賞会」。子供たちと一緒に川で遊び学ぶ「リバーフェスタ参加」。どの班も仕事の合間をぬって考え、活動してとても大変だった事と感じています。それでも活動の中で多くの事を学べたのではないのでしょうか。そして、先ほど文中にもありましたように「活動を広める班」は読んで字の如く活動を広めるという単純な言葉ですが、今まで欠けていた事。そうです。活動を沢山のの人に広めていくことです。沢山の活動をしてきましたが、今までどれくらいの人達に広まっていったのでしょうか？やはりいろんな方に理解して頂く事はとても困難です。先日、「10年後20年後の環境がどうあつてほしいか、またその為には何をすれば良いのか」と言う課題を委員会スタッフに聞いたところ、ほとんどの答えが「もちろん、良い方向に変わってほしい」「せめて今の現状を維持したい」などの意見でした。また「その為には？」の問いには「沢山のの人に知ってもらふ事」やはり、この答えに到達しました。当たり前のようにですが環境問題を知っている人は多くても行動している人は、かなり少ないのではないのでしょうか？この4年間様々な壁にぶつかってきましたが、聖陵会水環境委員会にやっと1番大切な事が見つけられたような気がします。これからの課題として「活動して広めていく」というテーマ。一生のテーマとなりそうです。

聖陵会水環境委員会

H19年度委員長 後藤美和

委員会活動の概略

平成12年8月水環境委員会発足

【設置目的】

私たち聖陵会では、2つの大きな施設が三隈川沿いに立ち、川からいろいろな恩恵を受けており、川に対して何らかの働きかけを実施すべきであると考えてます。又、三隈川は日田市のシンボルであり、川を愛することは郷土を愛することにもつながると考えました。

水環境委員会 活動内容

平成19年度 水環境委員会 年間活動内容

定期採水 2月、4月、6月、8月 10月 実施
(全箇所 同一日時で実施)

2月 えひめ AI-2 ビデオ鑑賞

3月 「水の森の会」植林作業 参加 (日田市)

4月 初島森林植物園ネットワーク 総会、植物観察会 参加

5月 えひめ AI-2 試作

6月 ホタル鑑賞会 実施 (東有田、宝珠山)

8月 筑後川フェスティバル 水質調査 発表

リバーフェスタ 環境ブースの出展

(ダム建設における環境への影響を発表)

9月 初島森林植物園ネットワーク 森林作業参加

11月 冊子 作成

以上。

具体的な内容は次回につづく・・・。